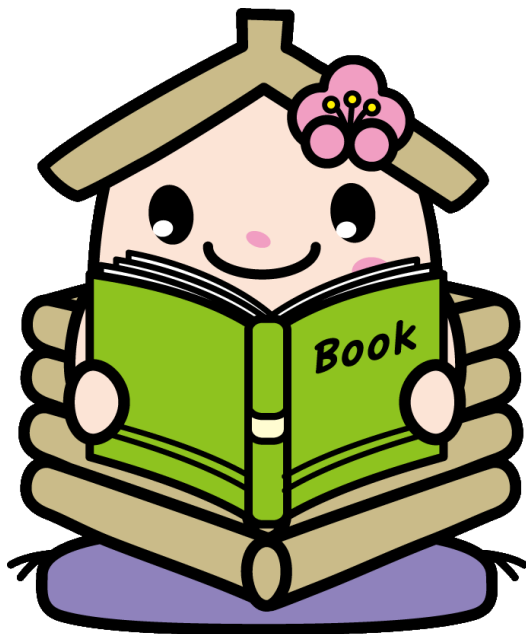


小学校5・6年生におすすめの本  
2020

# ブック セレクション



酒々井町立図書館

## 『こども六法』 320ヤ

山崎聡一郎／著 弘文堂

虐待やいじめは犯罪です。また、人を殴ったりお金をうばったり、SNSに悪口を書き込んだりすれば警察につかまります。法律は自由で安心な生活を守るための大切な社会のルール。やってはいけないことを正しく理解し、いざという時に自分で自分を守る手段を学ぶことは大切です。イラストつきで分かりやすい法律の入門書！



## 『いいたいことがあります！』 913ウ

魚住直子／著 偕成社

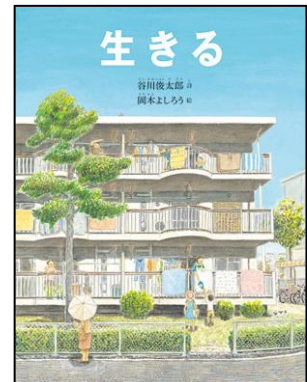
陽菜子は中学受験をひかえた小学6年生。勉強も家の手伝いもするよう言われていますが、兄には言わない母の不公平な扱いに納得することができません。もやもやした気持ちをかかえて過ごすある日、不思議な女の子と出会い…。お家の人にもぜひ読んでもらいたい1冊です。



## 『生きる』 Eオ

谷川俊太郎／詩 福音館書店

「生きていること いま生きているということ」で始まる谷川俊太郎さんの詩です。足元のアリやセミを見つめたり、公園で遊んだり、庭に水をまいたり、家庭で食卓を囲んだりといった、なにげない毎日の中の一場面を、丁寧に描いた絵とともに味わえる絵本です。



## 『野菜を守れ！テントウムシ大作戦』

谷本雄治／著 汐文社 626 夕

酒々井町のお隣、成田市のとある高校生が始めた「テントウムシ大作戦」。これはテントウムシを使うことで、農薬を使わずに畑の害虫アブラムシを退治できるというもの。次々と出てくる難問を、ユニークなアイデアで解決していく高校生。テントウムシにも優しいその方法とは？



## 『なぜきみは生きるのか 10代からの人生哲学』 159 才

大坪信之／著 幻冬舎メディアコンサルティング

10歳を過ぎると、自分のこと、友人関係、将来のこと、いろいろと考えることが増えてきて、その答えを見つけることは簡単ではないでしょう。

これからもっと、広い世界へ、自分の足で進んでいくために。「カツオノエボシ」を見習って、幸せな未来を目指そう！



## 『くじらのおなかからプラスチック』 519 ホ

保坂直紀／著 旬報社

おなかから 80 枚ものビニール袋が出てきたクジラの死骸やビニールひもがからみついて身動きが取れなかったウミガメ。これらの写真を見てショックを受けない人はいないでしょう。このままでは 2050 年に海の魚の重量を上回るともいわれるプラスチックごみ。私たちへの影響は？ 私たちにできることは？ 世界が直面する海洋プラスチックごみ問題の最前線を伝えます。



## 『窓をひろげて考えよう 体験！メディアリテラシー』

下村健一／著 かもがわ出版 361シ

テレビ、新聞、雑誌、インターネットなど、世の中は情報にあふれています。でもその情報、信じるのはちょっと待って！デマを信じてしまったらあなたは被害者になるし、デマをうっかり流したらあなたは加害者になってしまいます。

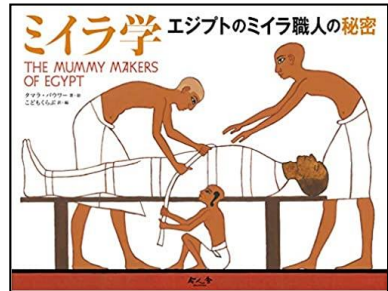
情報を受け止める前に、情報と現実の関係を想像してみよう。



## 『ミイラ学』 242ハ

タマラ・パウワー／著・絵 今人舎

エジプトに住む王室御用達のミイラ職人の話。王妃の父の詩によって行われる葬送の儀式とミイラづくりの過程を、鮮やかで精巧な絵とともに、わかりやすく紹介しています。ミイラ職人の目線で語られた初めての本です。



## 『スパイ学 国際スパイになるために』

アンディ・ブリッグス／著 今人舎 391ブ

映画、テレビに登場するスパイ。このような仕事をやってみたいと考えたことはないでしょうか。

この本を読めば、スパイに必要なことを学ぶことができます。スパイの実態、暗号術、尾行、変装など、スパイのテクニックを紹介します。忍者の歩き方も紹介されていますよ。



## 『月白青船山』 ティ913ク

朽木祥／作 岩波書店

鎌倉に住む大叔父の家で夏休みを過ごすことになった兵吾と主税の兄弟。地元の少女・静音と遊ぶうちに時空を超え、時が止まってしまった不思議な谷に迷い込みます。時を再び取り戻すため、瑠璃という石を見つけてほしいと頼まれた3人の謎解きが始まります。古都鎌倉を舞台にした、現代と過去が交差する歴史ファンタジーです。



## 『故郷の味は海をこえて 「難民」として日本に生きる』

安田菜津紀／著・写真 ポプラ社 369ヤ

この本を開くと、香りや味まで伝わってきそうな料理の数々が目に飛び込んできます。その料理をふるまってくれたのは、紛争や人権侵害から自分の命を守るため、やむを得ず母国から逃げざるをえなかった「難民」と呼ばれる人たちです。思い出がたくさんつまった故郷の料理を紹介しながら、難民がたどってきた険しい道のりが語られていきます。



## 『窓ぎわのトットちゃん』 914ク

黒柳徹子／著 講談社

主人公のトットちゃんは小学1年生。活発すぎて、通っていた小学校を退学になりました。転入したのは、ママが一生懸命探して見つけたトモ工学園。電車の車両を使ったユニークな教室で、小林先生に見守られながら、お友達とかけがえのない日々を過ごします。女優・黒柳徹子の自伝的物語。戦後最大のベストセラーです。



## 『泣けない魚たち』 913ア

阿部夏丸／著 講談社

6年生の春に転校してきたこうすけは無口ですが川や魚にとっても詳しく、ぼくにザリガニの味を教えてくださいました。担任の先生から、川にサツキマスという幻の魚がいることを聞くと、こうすけとぼくは仕掛けをして魚を待ちます。成長する少年たちの姿をみずみずしく描く表題作ほか、「かいぼり」「金さんの魚」の2編を収録しています。



## 『ほんとうの願いがかなうとき』 933オ

バーバラ・オコーナー／著 偕成社

両親が子どもの世話をできなくなり、5年生の女の子チャーリーは田舎町に住むおばさん夫婦と暮らすことになりました。何もかも不満ばかりでしたが、毎日幸運のしるしを探しては、ある願い事をしています。チャーリーの願いとは？家族から離れた少女が本当の居場所を見つける物語。

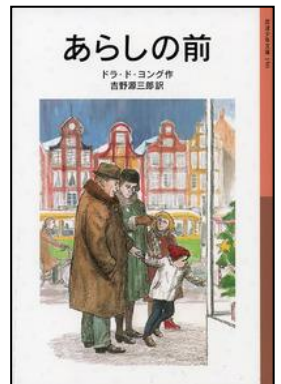


## 『あらしの前』 933ヨ

ドラ・ド・ヨング／作 岩波書店

オランダの静かな村で開業医オールト家は、6人の子どもたちと穏やかに暮らしていました。ところがある日、ドイツ軍がオランダに侵入し、平和な一家にも次第に戦争の影がしのびより…。

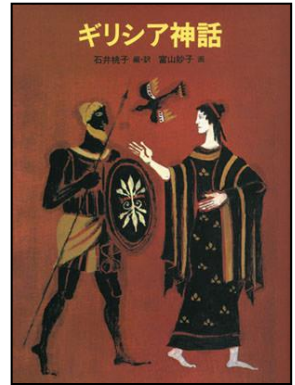
困難な状況でも希望を失わず、結束して生きようとする家族の姿に心打たれます。続編「あらしの後」もおすすめです。



## 『ギリシア神話』 991キ

石井桃子／編・訳 のら書店

古代ギリシアの人々が伝えた物語です。全能の父ゼウスや太陽神アポロンなどの神々が活躍する話、蛇の髪を持つメドウサを退治したペルセウスをはじめ勇敢な英雄たちの話、他にも「トロイア戦争」などを含む24の物語が収められています。力強く豊かな魅力にあふれた神話の世界にふれてみてください。



## 『しずかな日々』 ティ913ヤ

柳月美智子／著 講談社

内気で一人でいることも多かった光輝に5年生のクラス替えで声をかけてきたのが後ろの席の押野君でした。母と離れて暮らすことは寂しいけれど、祖父や友達と何気ない「しずかな日々」を過ごし、光輝の世界は広がっていきます。大人になった光輝は子供時代の日々を「唯一無二の帰る場所」「一生の宝物」として優しく丁寧に思い出します。野間児童文芸賞、坪田譲治文学賞をダブル受賞した感動作。



## 『さすらい猫 ノアの伝説』 913シ

重松清／著 講談社

小学5年生の健太の前に現れたのは、風呂敷を首に巻いた黒猫・ノア。風呂敷の中に入っていた手紙によると、ノアは自分たちが忘れてしまった大切なことを思い出させてくれるらしい。半信半疑の健太たちですが、ノアは人間の言葉がわかるような素振りを見せて…。不思議な黒猫が巻き起こす、小さな奇跡の物語。

